瀬戸内発見伝

巻の三十七

春を呼ぶ裸祭り
―瀬戸内市の会陽―

「エエヨウ」といえば西大寺観音院の裸祭り。春を呼ぶ祭りとして有名です。瀬戸内市内でも裸祭りが行われていたと言ったら驚かれるでしょうか。瀬戸内市内でもかつては3カ所で会陽が行われ、裸の男たちがシンギを奪い合っていたのです。

【神田稲荷の餅まき会陽】

現在も続けられているのが、邑久町尻海にある神田稲荷神社の会陽です。毎年2月11日に餅まきの形で行われています。餅を入れた袋の中に「神木」と書いた紙を入れておき、それを取った人が取り主になるというわけです。「神木」は2個、ほかに「宝筒」が2個、「串子」を意味する「○」印の紙が入った餅が百個あり、約一万個の餅とともに投下されます。「神木」の餅を取った人は会陽元に届け、翌日、「神木祝い式」で神木などが贈られます。

神木は長さ4寸8分（12・8センチ）、直径9分（3・4センチ）の八角柱。神前に供えられて五穀豊穣・家内安全などの祈願が込められています。

いつごろから始まったのかはっきりしませんが、かつては裸での神木争奪が行われていました。昭和35（1960）年に抽選で福男を決める方式に変わり、38年から現在のような餅まき会陽になりました。近年、餅まきに先立って会陽同好者のグループによる裸会陽の模擬演技が行われるようになりました。

【弘法寺の会陽】

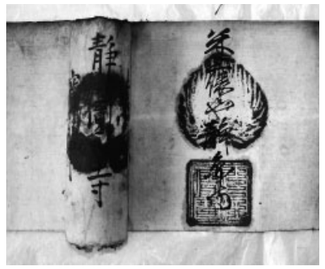
牛窓町千手の弘法寺でもかつては会陽が行われていました。昭和42（1967）年に火災で本堂などが失われたため、43年から中止されています（大根まつりの際に模擬演技が行われます）。

会陽は旧暦正月1日から始まる修正会の7日目、すなわち結願の日となる7日の夜に行われていました。

弘法寺会陽の宝木は円柱形で、明治ごろのものと見られる宝木がいくつか残されています。それらによると弘法寺の宝木は、金剛界、胎蔵界の2本からなり、それぞれ不動明王と愛染明王を意味していたようです。

【静円寺の会陽】

邑久町本庄の静円寺で行われていた会陽は、昭和20年ごろ中止されたといわれています。「横尾山会陽由来記」には、永正7（1510）年に修正会結願の夜「牛玉」を授けるようになったのが始まりで、やがて裸の群集に投与されるようになったという、西大寺のものと似た由来が記されています。


静円寺会陽の信木

静円寺会陽の「信木」には天保14（1843）年のものが残されています。長さ約18センチ、直径4・7センチの円柱形。「信木」を包んだ和紙に「米三俵也」という記述もあり、静円寺から取り主に米3俵が贈られたようです。江戸時代の会陽の様子を伝える大変貴重な資料となっています。

【初春の祈り】

岡山県では、103カ所で会陽が行われていたことが報告されています。なぜ「会陽」と言うのか、語源ははっきりしませんが、修正会という行事と一体であることは共通しているようです。修正会は正月に修される法会で、天下泰平・五穀豊穣・家内安全などが祈願されます。その「おかげ」をいただくため、新春のおめでたい行事として多くの人に親しまれたのでしょうか。

今年も2月11日に神田稲荷神社で餅まき会陽が行われます。

〔参考文献〕

『岡山県の会陽の習俗』
岡山県文化財保護協会で販売（1、500円）。

■問い合わせ先
☎086―226―7601

ホップ・ステップ・ジャンプ

このコーナーは、生涯学習に生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか。

心身をリラックス「しあわせ気功グループ」

中国で生まれた健康法である気功の基本は、心身のリラックスにあります。部屋の照明を落として、静かな音楽の中、動作、呼吸、イメージを用いて、総合的に心身の自己コントロールを行います。

目を閉じ、一連の動きをゆっくりと行う気功グループの皆さん。自然呼吸で気を集中させ行うと、五臓六腑が温かくなります。

太極棒を使って気功を行います

グループの一人は「ひざが痛くて、ハードな運動はできなかったけど、気功で調子がよくなりました」と体のゆがみが直り、体調がとても良好な様子。「気の流れを良くすると、自然と体の調子が良くなります」と、セラピストの荒木愛子さん（牛窓町長浜）。

「しあわせ気功グループ」の皆さん

あなたも、気功をして、気の流れを良くしてみませんか？　ただ今、会員募集中。

★活動日時　木曜日　午後7時30分～9時
★活動場所　鹿忍ふれあいプラザ
★会費　月4回3、000円
★連絡先　竹内　緑さん
☎0869―34―4802

みんなで楽しくダンス「夢二フォークダンスサークル」

邑久町公民館で毎週金曜日、夢二フォークダンスサークルの皆さんが、リズミカルな音楽に合わせてフォークダンスを楽しみます。現在、会員は12人。

和気あいあいとした雰囲気の皆さん

華やかな衣装を身に着けた皆さんは、まず、簡単な曲で足慣らしをした後、新曲を2曲ほど練習します。

フォークダンスは宵待草、マイム・マイム、テネシー・ワルツなど、世界中の国の踊りがあり、踊り方、楽しみ方もさまざま。「1・2・3…、2・2・3…」とリズムを取りながら、軽やかなステップでいろいろな国の踊りを楽しみます。

みんなで一緒に楽しく踊ります

「みんなで楽しくが一番。相手を思いやりながら、みんなで踊っていくことが大事」と指導者の梶谷栄さん。

同会ではクリスマスパーティーなど、さまざまなイベントを開催し、踊りの輪を広げています。興味のある人、一緒にフォークダンスを踊ってみませんか？

★活動日時　金曜日　午後1時～3時30分
★活動場所　邑久町公民館
★会費　月1、200円
★連絡先　梶谷　栄さん
☎0869―22―3991